

2008年6月22日

十字架の記憶

藤沢 元

6月の第一礼拝でピーター先生が言われました。「十字架の記憶は誰の中にもある。生まれる前から与えられている。イエス様が私のために十字架で死に、あがなって下さった。そのあがないの記憶が呼び覚まされる時、人は生きる者とされる」

私はそれを聞いて「なるほど、そうだったのか」と、断片的に散っていた思いや考えが一つにされる感動をおぼえました。

たとえば、その一つが聖餐式です。聖餐式は、私たちの中にある主のあがないの死の記憶を呼び起こし、かつ主の十字架の死を全地に向けて告知するものです。ただ、昔のこをなつかしく思い起こすだけなら、感傷的になることはあっても、力はありません。しかし、キリストの十字架の記憶は、現実の世界をいやす力を持っています。だから、主の死を告知する時、地はいやされ、この時代の虚無は主の愛に覆われるのです。

私は、ミニ・コンサートに行った先々で、ハトさんびを初めて聞いたお年寄りが涙を流して感動し、最後のお祈りに手を合わせ、「アーメン」と唱和される光景を何度も見て来ました。それは、ただ義理で私たちにつきあっているのではなく、心から主にふれられている様子でした。

どうしてそこまでふれられるのが、私は不思議でなりません。教会に自分から来る人たちは自発的に来ているのですから、さんびにふれられることも考えられます。しかし、まったく予備知識もなく、たまたまハトさんびを聞いた人が主にふれられるのは、聞く人たちの奥に眠っている「十字架の記憶」が呼び覚まされるからであると思われました。さんびの力とは、人や地の中にある十字架の記憶を活性化させるのです。

人の努力によって行き着くところは虚無である。しかし、十字架の記憶を呼び覚まされて、あがないの愛に目覚めるなら、虚無は退散し、主の光の中をよるこんで生きることができる。

虚無とは、どれだけ人の生きる力を削いで行くことでしょうか。しかし、その虚無に勝つために、人の中に埋もれている十字架の記憶が活性化されてほしい。その活性化を促進させるのが、ハトさんびであると思われました。

これから、地球の温暖化が深刻化し、地震が頻発し、人類の文明はみずから蒔いた種を刈り取って滅びに向かって速度を上げて進んで行くでしょう。人が住むに適さない条件が重なり、生きる希望を見いだすのがますます困難になって来ます。しかし、そのような中に置かれてもなお、「十字架の記憶」から出るよみがえりのいのちの力は、地をいやし、時代をいやす。

伝道する相手は、「すべての造られたもの」(マルコ 16:15)であるという主の言葉の意味がわかりました。すべての造られたものの中に十字架の記憶、あがないの記憶が埋もれているからです。

また「愛」の反対は「無関心」であるといえます。中国四川省大地震で亡くなった方々のことを、忘れてよいはずがない。その人たちの霊が主の光に移されるよう、私たちはさんびし、祈り続けたいと願います。十字架の記憶が天と地に満ちますように。(2008/6/1)

ピーター、美津子担当 合同礼拝のお知らせ

・7月20日(日)10:30 静岡合同礼拝

会場:静岡労政会館 静岡市葵区黒金町5-1(静岡県勤労者総合会館4階)

交通:JR 静岡駅北口より徒歩7分

「第17回 子羊の群れリトリート」のお知らせ

日時:2008年8月28日(木)~30日(土)

会場:滋賀県「大津プリンスホテル」

8月27日(水)は、リーダーのための総会があります。

「ぶどうの木」に挟み込まれている申込み用紙をご利用下さい。

費用など詳細については、「ぶどうの木」をご覧ください。

荒野聖研へのお誘い

子羊の群れでは、聖書のみことばを通して神様に語られることに向かい、レポートする「荒野聖研」をしています。人に聞くのでもなく、注解書に頼るのでもなく、ただ一人主に向かい静まる時に湧いてくる思いなどをお書き下さい。メール、または封書で本部事務局までお送り下さい。たくさんのレポートをお待ちしています。

荒野聖研メールアドレス arano@kohitsuji.com

子羊の群れ本部事務局 荒野聖研係 〒662-0945 兵庫県西宮市川東町 6-7-103

6月荒野聖研課題

「毒麦を」提出日6月27日

彼は言った、「いや、毒麦を集めようとして、麦も一緒に抜くかも知れない。収穫まで、両方とも育つままにしておけ。収穫の時になったら、刈る者に、まず毒麦を集めて束にして焼き、麦の方は集めて倉に入れてくれ、と言いつけよう」 (マタイ 13:29-30)

収穫まで毒麦をとらないとは、あなたにとってどういうことですか。

7月から9月まで、サマースケジュールのため荒野聖研はお休みします。

2008年度荒野聖研「後期課題」を募集しています。郵送または、荒野メールアドレスまでお送り下さい。

6月芦屋教会礼拝&聖書研究

| 日曜礼拝(10:30~) | | 水曜聖研(10:30~) | |
|--------------|----|--------------|------------|
| 22日 | 礼拝 | 25日 | ローマ人への手紙7章 |
| 29日 | 礼拝 | | |

7月のルナホールいやし礼拝は、7月13日(第2日曜日)です。

7月から9月まで、サマースケジュールのため水曜聖研はありません。

7月5日(土)、芦屋教会にて公開賛美練習があります。

子羊の群れ本部事務局 TEL 0798-32-1005 HP アドレス <http://www.kohitsuji.com/>